

# 都市計画の策定と駅周辺の活性化計画の状況は？



質問者  
齋藤 永 議員

昨年の一般質問でお聞きした都市計画の策定とコンパクトシティーのマスタープランの検討を進めていると思いますが、国道255号は未だに渋滞、新東名が完成すれば南下する車は必ず松田を通過し、更に渋滞が懸念されます。このことを踏まえ、次のことについてお聞かせします。

- (1) 新松田駅南口の整備事業や都市計画の策定等の進捗状況は。
- (2) 新松田駅南口は送迎車であふれ、北口では送迎車でバスが立ち往生し通行の妨げとなり、また、JRガードから来る歩行者が認識しづらく、車が急ブレーキを踏んだりして危険な箇所です。
- (3) 駅周辺に主要幹線道路整備が必要と思われるかもしれませんが、

A

**20年後の松田町の姿に向けた「都市マスタープラン」**  
回答 (町長)

- (1) 用地取得は全体面積の7割以上が完了している。都市マスタープランは、現在「地域別構想や実現化方策の作成」を今年度中に完成する。
- (2) 歩行者の安全確保、

交通混雑の緩和については、その対策に様々な研究を重ねている。ソフト面で、迎える車が待つのではなく、迎えてもらう方が駅で待つように看板の設置・啓蒙用パンフレットの配布を実施する。ガード付近の対策は、ラ

バーコーン等の設置に向け、県西土木事務所や松田警察署との協議をする。

- (3) 駅周辺の幹線道路は、幅員や構造を研究していく。「新松田駅周辺整備基本構想、基本計画」を策定する中で、研究・検討を重ねていく。

## 里地里山の保全と耕作放棄地の取り組みは



質問者  
飯田 一 議員

農業者の高齢化が進み、耕作放棄地がさらに増えるものと危惧されます。耕作放棄地の増加に伴い、里地であった耕作地が雑草地となり、猪・鹿・狸・ハクビシン等の格好の棲み処となり、また、それにつれヤマビルも増加します。

里地里山を守るには、まず、耕作放棄地の草刈り等を行うなど環境整備が必要と考えます。そこで次の点について伺います。

- (1) 農業者の高齢化に伴い、耕作放棄地が増えていますが、対策は今後どのようにお考えですか。
- (2) 里地里山の保全について、ボランティアの人の協力を仰ぎ、成功している事例も少なくありません。ボランティア制度の導入のお考えは。

A

**荒廃地の再生や保存は、里地里山保全事業の活用で**  
回答 (町長)

- (1) 農業委員会との事業を強化し、開発機関を通じて未病対策につなげ、どんな作物を栽培すれば利益性のよい農業となるかなど様々な研究を行っていくことで、若い方や農業に従事したい方々の農業参加支援を行い、耕作放棄地の増加の抑制を図

- (2) 先月、寄地区全域が「神奈川県里地里山保全地域」に選定された。この里地里山保全活動は、活動する土地の所有者と地元団体との間で協定を結び、それを県が認定することで、様々な補助金を受けられる。団体が購入する資器材の購入費も上限があるが補助される。
- ボランティアの導入も可能であり、本制度の活用は松田町の農業の活性化や良好な農業環境の維持・継続を行っていくことにつながると思っています。



里地里山の風景 (寄地区)